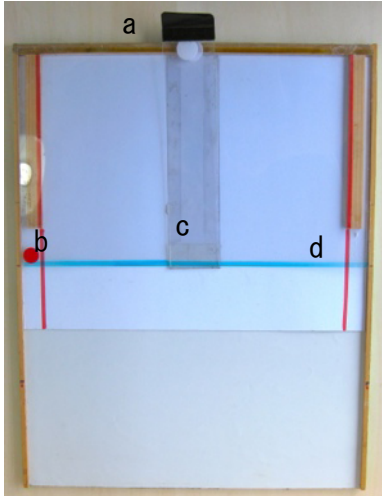


課題名「仕事学習」

目的

- ①作業の遂行、日常生活動作に要する様々なスキルを新たに身につける。
- ②目的を持った作業行動を通して実用化に向けて習熟する。
- ③獲得したスキルを自ら駆使して、自発的、自立的に作業を行う。

[課題A…紙を折る]

課題	教材名	必要なスキルと工程(方法1)	現 状 (1)
<p>「紙織り機」を用い個人用のカレンダーを2つに折って、所定の袋にしまう」</p>	<p>紙織り機 No.1</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 紙の半分より上を左手で押さえる。</li> <li>2. 右手の順手で、紙の右下を挟み上辺にあわせる。</li> <li>3. 合わせたら右手でおさえたまま、左手を抜き出し紙を押さえる。</li> <li>4. 左手で押さえたのを確認してから右手を離し下辺左端から折る。</li> <li>5. 折れたのを確認して手を離し両手指先で下辺中央から両サイドに向けて再度きちんと折る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 左記工程は見通しを含め概ね理解出来ている。</li> <li>2. スキルは左記工程全てにおいて不可。モデルを見ながら習得するという方法は困難である。</li> </ol>
<p>教材作成</p>			<p>結果と今後の課題</p>
<p>紙折りの支援として「紙折り機」を作った。</p>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上半分にアクリル板を張り紙を挟み入れ折る。</li> <li>2. 左右に角棒を入れ紙を入れ易くした。</li> <li>3. 挟み入れた紙を折る為にレバー様のCを取り付けた。</li> </ol> <p>使い方は、〈紙織り機の使い方〉で紹介する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 月毎のカレンダーを「紙折り機」を自発的に用い「一人」で処理出来るようになり自立性が増した。</li> <li>2. 今後、「紙折り機」で更に習熟していくか、又は紙折り機の作業を通して明確になった紙折りのイメージを背景に手で行う方向で支援していくか、状況判断が難しいところだ。</li> </ol>